

～論点関連資料～

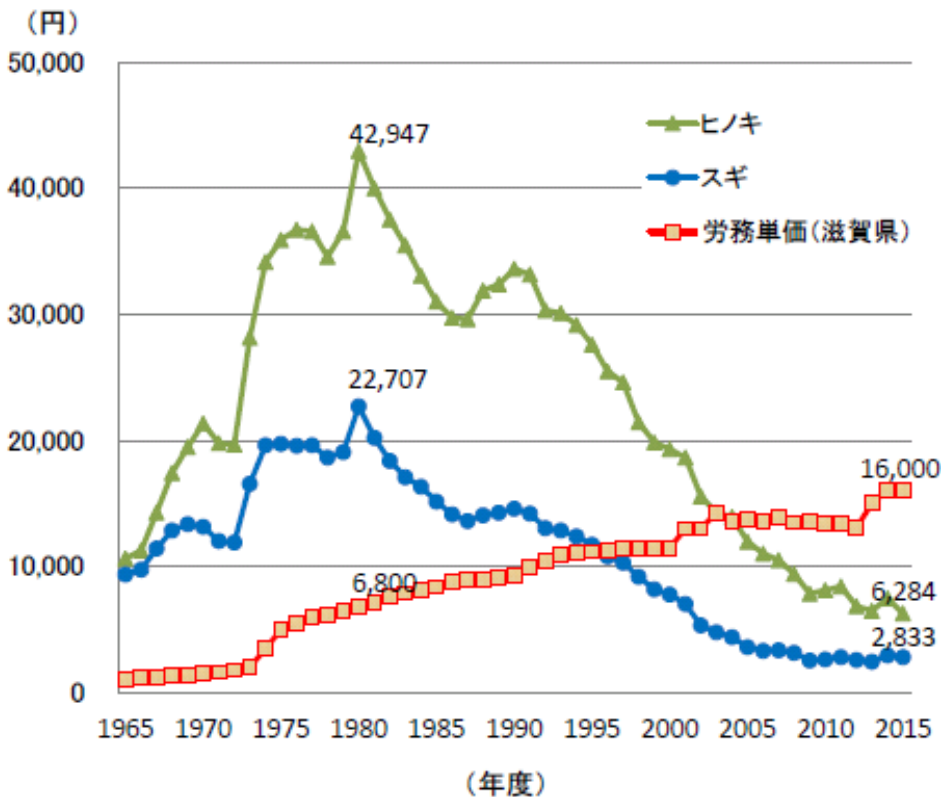
マーケットインに対応した木材生産体制を どう構築するか

- 1 木材を増産するための現状と課題
- 2 生産に関わる部門でのコスト削減

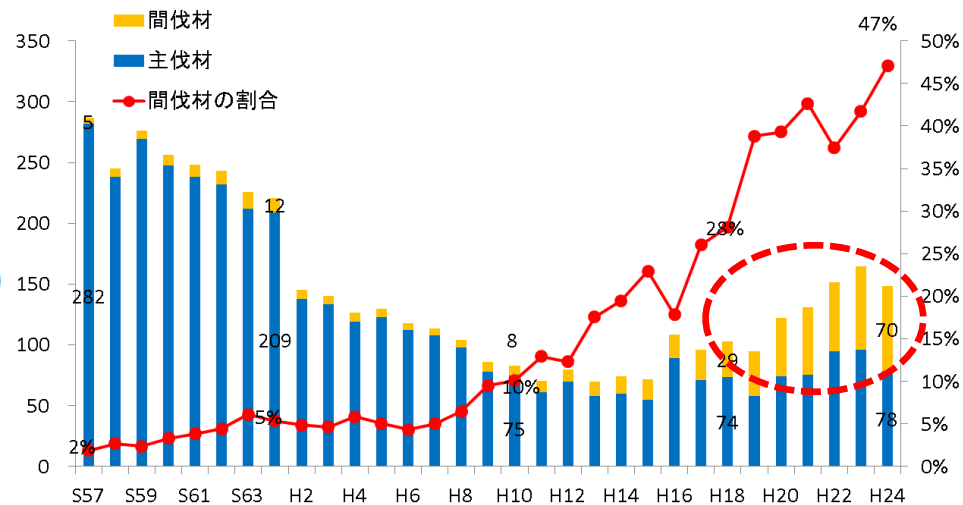
1. 木材を増産するための現状と課題

- 林業経営は、輸入材との競合等により木材価格の低迷が長期化し、採算性が低下
- 森林所有者の半数以上が林業経営をやめたい、あるいは、行うつもりはない意向（全国調査）
- 府内産木材の増産には、間伐材、主伐材の増産が必要（森林所有者の経営意欲が必要）
- 森林所有者の経営意欲の向上には、木材価格に見合う生産に関わる部門のコスト削減が必要

■ 山元立木価格(円/m³)と林業関係労務単価(円/人・日)の推移



京都府の素材生産量の推移(千m³)



資料：一般財団法人日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」
滋賀県業務資料 (総務省HPより)

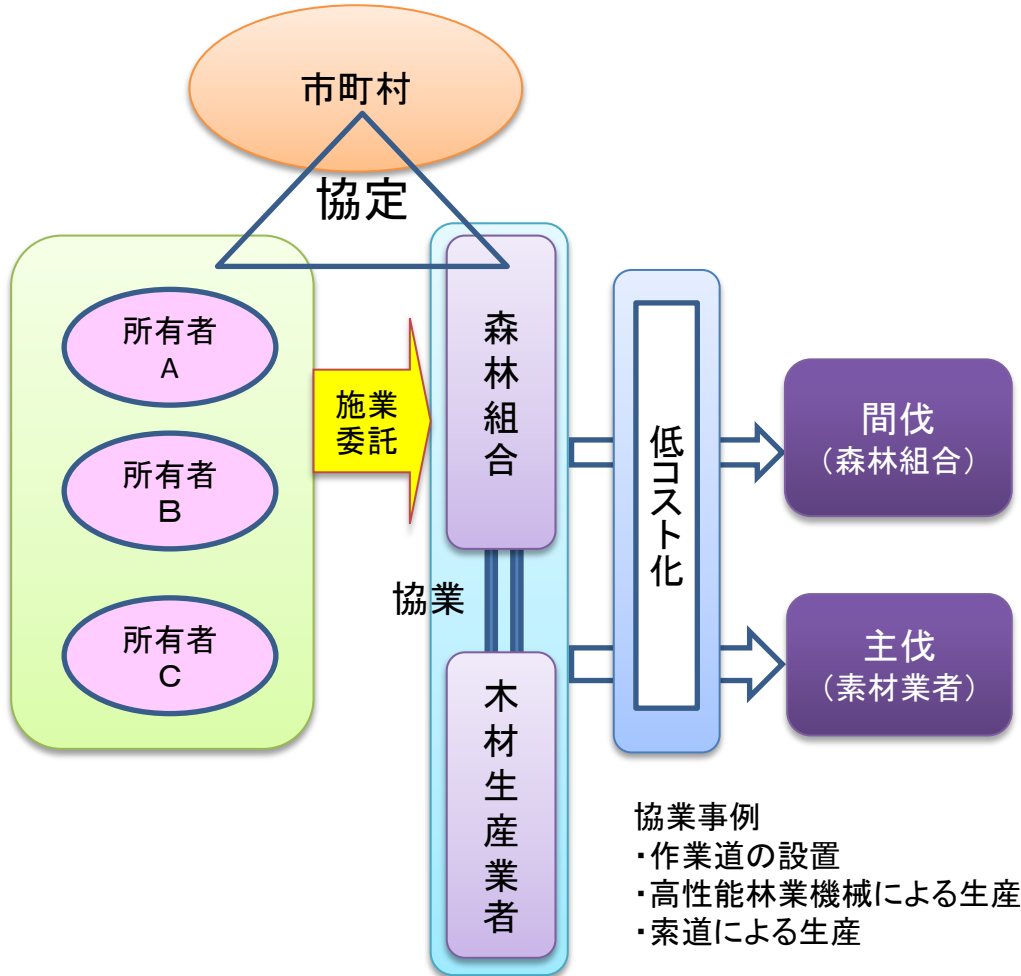
2. 生産に関わる部門でのコスト削減

○森林組合と民間木材生産業者との協業

～森林組合が民間の技術力と連携し、組合員がこれまで放置していた奥地林などの間伐や主伐を推進～

○一貫作業システム構築によるコスト削減

～伐採時に使用する林業機械・架線等を用いて苗木を運搬し、造林を行う一貫作業の推進～



協業による低コスト化

①放置森林の間伐・主伐作業委託の推進

- ・協定の締結等で放置林を主伐・間伐
- ・共同した森林所有者による施業委託により、施業が集約化され生産コストが軽減される

②森林所有者・森林組合・市町村の三者協定の推進

- ・公的な指導による計画的な主伐・間伐と適正な森林管理の推進

③森林組合と民間木材生産業者との協業

- ・森林組合が施業を受託し、民間技術力と連携

④一貫作業システム構築によるコスト削減